

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 26

2009年2月16日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、大橋剛介研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「東海iNET報告会」「第2回地域連携研修会」を開催します
2. 「サイエンスカフェin静岡」のご案内
3. 「オプトロニクスフォーラム2010in浜松」のご案内
4. 「東海iNET知財研修会」を開催します
5. 「産学共同研究成果発表会～地域の課題を解決する～」のご案内
6. 地域再生人材創出シンポジウム
「次世代ものづくり人材養成を考える」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

-
1. 「東海iNET報告会」「第2回地域連携研修会」を開催します
～文部科学省産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）～

日時 2010年2月19日（金）13：00～19：00
会場 浜松名鉄ホテル 4階 芙蓉の間
主催 文部科学省、静岡大学、豊橋技術科学大学
プログラム

- ◆第2回地域連携研修会 13：00～15：00
 1. 報告 平成21年度産学官連携戦略展開事業における調査研究
「静岡大学における産/学共同研究レビュー」
静岡大学イノベーション共同研究センター
学術研究員 関雄二
 2. 報告 「産学官連携への静岡大学の展望」
静岡大学 理事、副学長、知的財産本部長 中村高遠
 3. 講演 「地域産業振興のための産学官連携への期待」
(株)エフ・シー・シー新製品・四輪開発統括
常務取締役 石川恵一氏
- ◆東海iNET報告会 15：20～17：40
 1. 開会挨拶
豊橋技術科学大学 産学連携推進本部 教授 岩本容岳
 2. 講演 「今後の産学官連携の展望」
文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携推進課
技術移転推進室 室長代理 渡辺栄二氏
 3. 講演 「社会貢献につながる人材の育成」
静岡大学 情報学部長 伊東幸宏
 4. 地域連携の取組み（事例）の報告
静岡県立大学名誉教授、知的財産コーディネータ 園部尚
浜松医科大学 知財活用推進本部 知財活用コーディネータ
小野寺雄一郎
沼津工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
副センター長 藤尾三紀夫
豊田工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
センター長 塚本武彦

5. 東海iNET成果(事例)の報告

静岡大学 イノベーション共同研究センター長 木村雅和
豊橋技術科学大学 産学連携推進本部 本部長補佐 田中三郎

6. 閉会挨拶

■情報交換会 18:00~19:00 (参加費4000円)

定員 100名

参加費 無料 (情報交換会に参加される方は、参加費4000円)

申込締切 2月16日(火)

申込方法 下記の静岡大学産学連携WEBよりお申込みください。

<<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no78.html>>

問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター

TEL 054-238-4631

2. 「サイエンスカフェin静岡」のご案内

日時 第37話 2月19日(金) 18:00~19:30

「植物油のはなし」

第38話 3月25日(木) 18:00~19:30

「原子核の内部を探る~ミクロな世界を支配する物理学~」

会場 B-nest静岡市産学交流センター6階プレゼンテーションルーム

主催 静岡大学理学部

参加費 無料 (申込不要)

詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/~rigaku/sciencecafe/index.html>

問合せ先 静岡大学理学部 e-mail sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp

3. 「オプトロニクスフォーラム2010in浜松」のご案内

日時 2010年3月2日(火) 13:30~17:30

会場 オークラアクトシティホテル浜松4階 平安の間

内容 ○事業報告 ・知的クラスター創成事業

・産業クラスター計画

・地域中核産学官連携拠点

○研究開発成果発表(知的クラスター、産業クラスター)

○研究開発成果展示(知的クラスター、産業クラスター)

参加費 無料 (情報交換会のみ3000円)

詳細/申込み <http://www.optronics-cluster.jp/whatsnew/index.cgi?mode=view&noall=39>

問合せ先 財団法人浜松地域テクノポリス推進機構 知的クラスター本部

TEL 053-489-9111 e-mail optronics-cl@hamatech.or.jp

4. 「東海iNET知財研修会」を開催します

日時 2010年3月8日(月) 10:00~12:30(講演90分、質疑30分~)

会場 静岡大学 イノベーション共同研究センター 浜松オフィス

対象 大学・工業高等専門学校等の産学連携・知財関係者、教員

講演内容 「産学官連携のための特許明細書の作成」

講師 三好内外国特許事務所 所長代理 鈴木壮兵衛弁理士

参加費 無料

問合せ先 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

5. 「産学共同研究成果発表会~地域の課題を解決する~」のご案内

日時 2010年3月18日(木) 13:20~18:00
会場 B-nest静岡市産学交流センター6階プレゼンテーションルーム
内容 ○緑茶成分の動脈硬化症予防効果に関する研究
○空港開港に伴う旅館・ホテルの国際化対応と静岡市の国際ブランド力形成に関する産学共同研究
○静岡茶を利用した静岡型ツーリズムの研究
○高速回転機用金属磨耗センサーの開発
○清水駅前銀座商店街の改革活性化プロジェクト
○静岡特産「わさび」を利用した健康発酵食品の開発
○静岡いも焼酎の生産と副産物バイオ燃料化

定員 100名
参加費 無料
申込締切 3月12日(金)
詳細/申込 <http://www.hanjyou.jp/itaku/default.html>
問合せ先 B-nest静岡市産学交流センター
TEL 054-275-1655 e-mail info@hanjyou.jp

6. 地域再生人材創出シンポジウム 「次世代ものづくり人材養成を考える」のご案内

日時 2010年3月26日(金) 9:50~18:30
会場 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館 会議室
主催 静岡大学工学部、浜松市

プログラム
開会挨拶 静岡大学 工学部長 柳沢 正
浜松市長 鈴木 康友氏

1. ものづくり日本の復活~これからの技術者像~
アルプス電気(株)技術顧問 谷本 勲氏
2. グローバル競争を勝ち抜くための次世代ものづくり人材像
(株)メルコ 顧問 金城 盛順氏
3. グローバル時代における自動車の次世代プレス成形技術者の養成(仮題)
トヨタ自動車(株)プレス生技部長 中村 真一郎氏
4. 九州工業大学における先端金型デジタルエンジニア育成(仮題)
九州工業大学情報工学部 教授 鈴木 裕氏
5. 次世代ものづくり人材「はままつデジタル・マイスター」育成
静岡大学工学部 教授 中村 保
6. はままつデジタル・マイスターの実施事例
7. パネルディスカッション「次世代ものづくり人材養成を考える」
8. 次世代ものづくり人材育成センター見学 16:00~17:00
9. 交流会 17:10~18:30

参加費 無料
詳細/申込 http://www.eng.shizuoka.ac.jp/digital_meister/H22Program.pdf
問合せ先 静岡大学工学部企画係 TEL 053-478-1757
e-mail thmakiz@ipc.shizuoka.ac.jp

《 静大ラボ紹介 -11- 》

工学部電気電子工学科 大橋剛介研究室
<http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~tegooha/>

私たちの生活の中で「情報を検索する」という行為は、生活を楽しく・便利にするために不可欠なものとなってきており、最近では、文書に続いて、動画や画像に関しても、利用者が求める情報をよりの確に検索で

きる方法が求められてきています。

大橋剛介准教授の研究室では、視覚情報処理や画像認識の研究を行っており、その研究成果のひとつとして「スケッチ入力による画像検索システム」があります。この画像検索システムは、検索者が頭に思い浮かべる画像を簡単なスケッチとして描くだけでその絵の形状情報を基に瞬時にデータベースから候補画像を一覧にして提示してくれます。

近い将来、デジタルカメラで撮りためた過去の写真の検索や、インターネットの画像検索エンジンにも、大橋先生の研究成果が活かされるようになるでしょう。
(記：関 雄二)

《 みんなのコラム 》

昨年10月15日・16日に清水商工会議所、しみず新産業開発振興機構、アース研究会（全国規模の異業種交流会）主催で「Innovation Venture Summit in清水」が開催されました。

静岡市にある静岡大学、静岡県立大学、東海大学の3校も共催し、企業発表と共に大学の成果発表が行われました。不況の中でも、次世代の新事業を立ち上げようと、数多くの企業の方が参加し、活発な意見交換が行われていました。実際に、研究内容に興味を抱き、具体的な質問などが飛び交い、会場はとても活気にあふれていました。

この厳しい状況下、なお一層の産学官の連携を図り、新事業を立ち上げていくことが望まれます。また、それが地域活性化の早道であると考えます。まずは、参加企業の皆さんが静岡大学の産学連携活動に関心を抱き、活発な交流を進めていくことが第一です。参加企業の方の様子は非常に好感触だったので、1社でも多くの会社との橋渡しのお手伝いができることを望みます。
(記：静岡大学客員教授 中西幹育)

《 編集後記 》

イノベーション共同研究センターでは、今年度「IJRC賞」を創設しました。（IJRCは、Innovation and Joint Research Center の略称です）

センターでは、数年前より静岡大学の技術シーズを広く企業の皆様に知っていただき、技術相談・共同研究等の産学連携活動により地域産業の活性化に繋がるよう「静岡大学共同研究希望テーマ説明会」を開催しています。

平成21年度の「IJRC奨励賞」受賞者は、このテーマ説明会（今年はH21.7.30）の他、テクノサロン浜松（H21.6.8）、静岡大学イノベーションブリッジ（H21.10.19）、メディカルイノベーションフォーラム（H21.11.16）、CIC東京イノベーションブリッジ（H21.12.2）で発表した研究者の中から選ばれる予定です。

産学連携の観点からより一層の発展が期待される研究や、特に優れたプレゼンテーションを行った研究者を奨励するこのIJRC賞が、静大の知の成果の更なる波及の一助となればと思います。

【お詫び】

本メールマガジンの配信は無料です。

前号まで「購読」と誤解を招く表記をしておりましたことを深くお詫びいたします。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5Ocj@shizuoka.ac.jp まで
お願いします。（↑送付の際はO欄に@を入れてください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved